



## 町民のために奮闘する「広陵町産業総合振興機構 “なりわい”」

～ コロナ禍において町民の「生業」をサポート～

### ■産業・農業・観光を横断的に振興

一般社団法人広陵町産業総合振興機構（通称“なりわい”）は、広陵町における産業・農業・観光の横断的な振興を目指し2020年3月に発足した。

同町では国産品シェア60%を占める靴下のPR、イチゴ産地復活への取組、歴史遺産等を活かした観光産業の推進など、各分野において明確なテーマを掲げ取組んできたが、迅速で柔軟な対応が課題となっていた。

なりわいはこれらの課題を解決していくことを期待されており、町全体の産業を「商品化」することで域内経済循環を生み出すことを目指している。

### ■新型コロナウイルス感染症に対する対応

発足間もないなりわいだが、今回のコロナ禍において早速その存在感が発揮された。

同町の靴下メーカーにマスクを製造してもらい町民に配布するという町の事業に対し、なりわいが「事業者への依頼→マスク買取り→町民への配布」を一手に引受け迅速に対応した。緊急時においてスピード感が要求される中、事業者・町民双方への的確な支援が早期に実現した。またなりわいは、飲食店支援のための団体「We Are Koryo」を運営しており、テイクアウト店のPRや参加店勧誘などに地域とともに取組んだ。

なりわいの支援活動は地域に一体感を生んだ。町内の加盟店舗での飲食・テイクアウトに使用できる期間限定の「かぐやチケット」の発行を同町が決定、額面3,000円分を2,000円で誰でも購入可能なチケットで利用者から好評を得ている（利用期間：10月末まで）。

広陵町事業部の栗山ゆかり次長は、「なりわいには商業、製造業、飲食、農業など様々な分野の町内のキーパーソンに理事として入って頂いたが、皆さん自ら考えて積極的に動いてくださっており、スピーディーでタイムリーな支援に繋がられている」と手ごたえを語る。

### ■広陵くつした博物館の運営

2020年6月、靴下産業をPRする「広陵くつした博物館」がふるさと会館グリーンパレスにオープンし、なりわいが同町から業務委託を受け運営している。同博物館では靴下の展示・販売のほか、靴下生産の歴史や製造工程も解説されており、「靴下のまち広陵町」を詳しく理解できる。

### ■地域社会の持続可能な発展に向けて

なりわいでは、事業者支援の一環として事業経営の支援、アドバイス、新規起業の相談を専門的に行う「KoCo-Biz（ココビズ）」の設立も大和高田市と共同で進めている（2021年1月開設予定）。

このように新たな事業への挑戦を続ける広陵町の取組は全国的にも注目を集めており、2019年7月には国から「SDGs（持続可能な開発目標）未来都市」に選定された。そんな町の将来を担うなりわいへの期待は大きく、広陵町事業部地域振興課の細見周世氏はこれまでのなりわいの成果を「地域社会が町や町民の明るい将来に向け手を携えて活動してきた結果」と振り返る。今後の広陵町となりわいのさらなる発展を見守っていきたい。

（秋山利隆）



町内靴下メーカー製造のマスク



広陵くつした博物館

■なりわい  
（一般社団法人  
広陵町産業総合振興機構）



【facebook】 <https://www.facebook.com/nariwai.koryo.nara/>  
【instagram】 <https://www.instagram.com/nariwai.koryo.nara/>

### ■広陵くつした博物館

【所在地】 ふるさと会館グリーンパレス1階  
【開館時間】 10:00～18:00  
【休館日】 月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始  
【入館料】 無料  
【電話番号】 0745-55-1001